

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年4月1日

2003年3月概況

2003年3月の降水量は、州全体で平年以上を記録し土壌水分が改善された。気温は略平年並みであった。2002年10月1日からの積算降水量は、北中央地区では平年を下回っているが、北東地区では観測地点で差が有るものの多くの地域で略平年並となった。3月末のTopsoil水分はVery short:5%、Short:21%、Adequate:68%、Surplus:6%と発表され、これは昨年同期のTopsoil水分より良い状況である(昨年:Very short:22%、Short:36%、Adequate:40%、Surplus:2%)。Subsoilの水分も昨年同時より良い状況と報告された。

3月末の冬小麦の生育状況は、Excellent:5%、Good:26%、Fair:58%、Poor:9%、Very poor:2%と2月より改善された。昨年産冬小麦より生育状況は良好と発表されている。凍害はHeavy:2%、Moderate:15%、Light:26%、No damage:56%と発表された。冬小麦の40%が休眠中、52%が休眠から覚め、7%が生育を開始した。

土壌水分生育状況：3月30日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	5	21	68	6
Subsoil (%)	26	37	36	1

冬小麦作柄状況：3月30日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This month (%)	2	9	58	26	5
Last month (%)	4	18	60	16	2
Last year (%)	30	31	29	9	1
5-yr. Ave. (%)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Source: Montana Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com